

ワークスを未来につなげよう！

次世代育成のために1～3年次研修を開催

3月2日、柏センターにおいて初めての1～3年次研修を開催しました。40名近い異業種の仲間が集まり、ワークスについての理解を深め、課題や夢について語り合いました（下総エリアでも5月17日に開催）。



昨年、「第1次中期計画」を策定するにあたりアンケートを実施しました。その中で、連合会に期待することとして要望が多かったのは、次世代育成でした。早速、方針に盛り込み、今年度より「1～3年次「リーダー」「運営委員」を対象にした研修を実施することになりました。

「1～3年次(新人)研修」の内容としては、前半は「ワーカーズ・コレクティブ基礎講座」として、「価値と原則」や「W.Coの特徴と歴史」「各事業所の内容」「連合会の役割や活動内容」「WNJと全国会議」「法制化」などを学び、後半はグループ別にワークショップ形式で、「加入した動機」や「現状での課題」「これからワーカーズでやりたい夢や希望」などを話し合い、発表しました。内容を理解することも大切ですが、事業所のメンバーだけでなく、他の事業所のメンバーと交流することにより、情報が視野が広がり、活動が活発になることも併せて期待しています。

事業推進部長 柴山温行

■ 仲間に勇気づけられて

研修に参加してワーカーズ・コレクティブの同じ配送の職種の方のお話を伺って「うんうん、そうそう」と同じような悩みや楽しみを聞いて、場所は違うけれど同じように頑張っているんだなぁと勇気づけられました。食や学習塾など、違う職種の方のお話を伺って「そうなんだぁ」と想像できなかった大変さや、やりがいを知ることができました。

ワーカーズ・コレクティブとして皆同じような課題があることもわかり、長年続けていくことができるように頑張っていきたいと決意を新たにすることができました。

(企)ワーカーズ・結 佐倉ランチ

佐々木敏子

■ 若い人が働きやすい職場を！

ワーカーズ・コレクティブの歴史や目的など一度は聞いていましたが、曖昧に覚えていたり知らないことがあったりで、改めて勉強になりました。

ワークショップでは食以外の方の話も聞きました。それぞれの場で悩みや夢があり、たくさんの意見が出ました。共通しているのは、もっとW.Coを知ってもらいたいこと、たくさんの人が共感して一緒に仕事をしていくこと、でした。そして、若い人が働きやすい職場を作っていくことが、私たちのこれからの課題だと実感した研修会でした。

菜の花 木屋村日出子

きっかけ

- ・友人に誘われて
- ・募集チラシを見て
- ・生活クラブの仕事がしたい
- ・支部スタッフの活動を通して
- ・社会の役に立ちたい
- ・楽しそう
- ・せっけん運動に関わったことから
- ・今までの働き方に疑問を感じて
- ・起業講座(学習会)に参加して
- ・W.Coのお弁当がおいしかったので

魅力

- ・自分達で仕事を創造していける
- ・働き方を話し合っ決めてられる
- ・上司がいない。仲間がいる
- ・非営利事業で働ける
- ・好きな生活クラブで働ける(組合員さんと直接話ができる)
- ・安全な食事が提供できる
- ・定年がない

1～3年次研修

ワークシートより

課題

- ・安定した経営(自立できる事業)
- ・安定した収入(最低賃金の確保)
- ・メンバー不足、人材不足
- ・次世代育成
- ・全員経営!という自覚を持つこと
- ・スキルアップ
- ・皆の合意を得て進めていくことに時間がかかる
- ・広報の充実

参加者の声

夢

- ・社会的に不利な人達の働く場を作りたい
- ・お店を地域に開いたコミュニティカフェに
- ・配送W.Coと協力して
お年寄りの配食サービスを
- ・W.Coのお弁当をコンビニに並べたい
- ・生活クラブの良さを組合員に伝える
橋渡しをしたい
- ・生活クラブグループのネットワークで
大きな仕事をしたい
- ・誰もが安心してあの世にいけるような
役割を果たしたい

運営委員研修

昨年度より新W.Coの設立が続き、順次事業が立ち上がっています。その一方で、既存の事業所において個人情報や食品衛生に関する危機対応に課題が見えてきました。各専門部会ではマニュアルの作成等を検討していますが、クレームなどに対する消費者の考え方も多様になってきており、適切な対応ができるよう、研修を企画しました。

危機管理対策に詳しい生活クラブ虹の街の鈴木佳明常務を講師に、経営危機管理に対する社会の流れ、1996年PL法成立を境に危機管理がより厳しく求められるようになったこと、2000年前後は偽装表示問題など食品の衛生管理に消費者の関心が集まったこと、現在は特に個人情報の取り扱いに注意すべきことなど、具体例を盛り込みながらお話いただきま

した。

中でも、

- ・危機管理マニュアルは、事業所ごとにきちんと作成されているか?
- ・内部研修は定期的に行われているか?
- ・顧客情報は適正に管理されているか?
- ・連絡網は作成しているか?

などは、各事業所に共通する課題です。

この研修をきっかけに、改めて危機への対応策を見直し、W.Coだからこそこできる、より付加価値の高い事業経営をめざしていきたいと思えます。

その研修会の翌日、東日本大震災が発生しました。参加者はみな学習した内容の緊急性を実感したことと思えます。

運営委員研修担当 奈良収子

「危機管理対応」

危機管理学習会に参加して

●食の事業所での個人情報の管理はメンバーの電話や住所、お弁当受付表まで及ぶことがわかって勉強になりました。今まで漠然と管理してきたことを反省しました。

部会でひな型を作った食品衛生管理マニュアルは、事業所に新しく作り直し、その他の必要な書類も整備できたので、今後はメンバー全員でそれを活用し、管理を徹底して事故を未然に防げるように心がけていきます。

このような学習会は日常の業務を見直すためにも、時々行う必要性を感じました。

福祉ワーカーズあい 西村憲子

●生活クラブ虹の街の配送を業務とするワーカーズ結では、日々組合員の個人情報を扱っています。この間、結では配達帳票、コースマスターなどの紛失事故を起こし、いずれも未遂には終わりましたが、組合員に迷惑をかける事態になりました。情報流出の危機管理を個人の意識に頼るだけでは難しく、組織としての対応が必要であることが改めて確認できました。

また、管理体制や個人の意識がいくら高まっても、100%万全ではありません。もし事故が起こってしまったら…。その時の対応についても準備を整えておく必要があると実感しました。

(企)ワーカーズ・結 風間由香

あなたの事業所、危機管理対応は大丈夫？



どれだけクリアしているかな
顧客名簿の管理、
危機管理マニュアルの作成、
研修は? 連絡網は?